

浴槽・プール全自動薬注ユニット

めつきんくん

登場

ポーラログラフ方式

浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤は、浴槽水中の遊離残留塩素濃度を1日2時間以上0.2~0.4mg/ℓに保つ事が望ましい。

「レジオネラ症発生防止対策のための衛生措置」より

全自動薬注ユニットの特徴

遊離残留塩素濃度を測定し塩素系薬剤を自動注入することにより、濃度を一定に保つことが出来、滅菌効果が確実

電極ダブル洗浄によりメンテナンスの回数が少ない
(ビーズ洗浄+電気洗浄)

価格が従来品の1/2以下

少しの設置スペースでOK

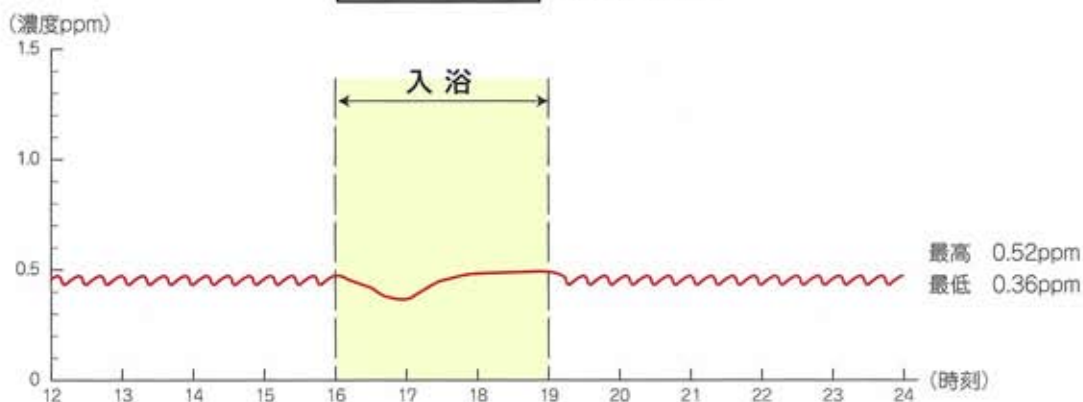
測定濃度の伝送機能 他



全自動運転及タイマー運転の実測データ

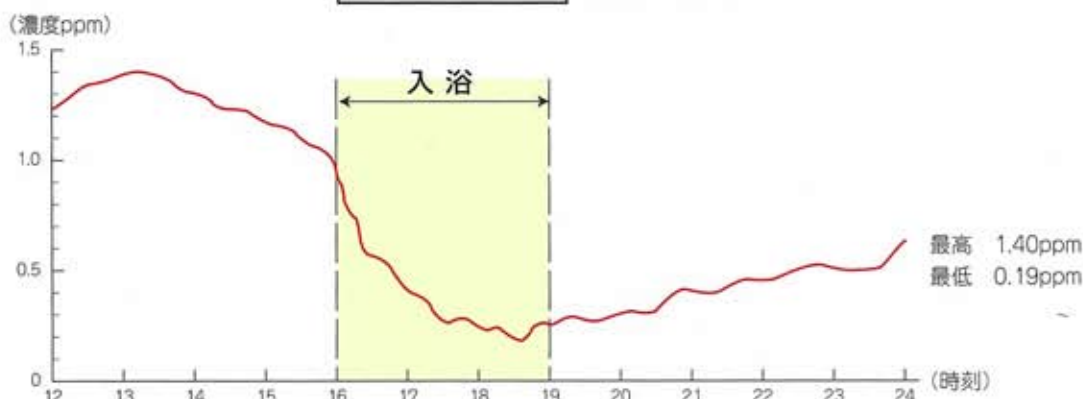
全自動運転

設定値0.45ppm



タイマー運転

1時間に15分運転



タイマー運転では、濃度の差が大きすぎ、
菌の繁殖及び高濃度による人体への影響がある。

(広島県 みつぎ清風園データより)

仕 様

型 式	SR-10-1484
測 定 成 分	遊離残留塩素
測 定 原 理	ポーログラフ法
測 定 方 式	ビーズ洗浄型微小固体3電極方式
測定濃度範囲	0~2mg/ℓ
水質測定範囲	PH6~8 10ms/m以上 0~45℃
タンク容量	50ℓ PE製(容量変更可)
薬注ポンプ	30mℓ/min×0.98MPa×200V×15W
寸 法	タンク(ポンプ内蔵) 420×420×665H(mm)
	コントローラーユニット 390×390×1,600H(mm)

※本資料の内容は製品改良などのため変更することがありますのでご了承下さい。

イシバシエンタープライズ株式会社

代理店

〒732-0052 広島市東区光町一丁目12-3
TEL(082)264-1268 代 FAX(082)264-1289